

令和5年度

第65回 全国公立学校教頭会研究大会

第51回 東海・北陸地区公立学校教頭会研究大会

第56回 石川県公立小中学校教頭会研究大会

石川大会

《 第2次案内 》

ハイブリッド大会

研究主題

「未来を切り拓く力を育む 魅力ある学校づくり」

キーワード

〈自立・協働・創造〉

サブテーマ

「ふるさとに誇りをもち 未来を切り拓く心豊かな人づくりを目指す
これからの学校運営の推進」

開催期日

令和5年8月3日（木）・4日（金）

会場

ホテル金沢
ANAクラウンプラザホテル金沢
金沢東急ホテル
KKR ホテル金沢
ハイアットセントリック金沢
金沢市文化ホール
金沢商工会議所会館





ごあいさつ



全国公立学校教頭会
会長 漆崎 英二
うるしぎき えいじ

石川大会によせて

第65回全国公立学校教頭会研究大会は、東海・北陸ブロックの石川県金沢市において開催いたします。令和5年度は、全国統一研究主題「未来を切り拓く力を育む 魅力ある学校づくり」を掲げた第13期の、スタートの年となります。

第12期は、コロナ禍にありながらも、1年次・岡山大会での「紙面発表大会」、2年次・佐賀大会での「オンライン大会」、そして、3年次・岩手大会、直前でオンラインとなったものの、「ハイブリッド大会（参集とオンラインの併用）」の礎を築いた大会と、流れを止めることなく継続しつないできた研究成果と課題をもとに取り組み、大きな成果を得ました。本大会においては、アフターコロナ・ウィズコロナの「新しい全公教」の形である「ハイブリッド大会」で開催し、「自立・協働・創造」というキーワードのもと、「ふるさとに誇りをもち 未来を切り拓く心豊かな人づくりを目指す これからの学校運営の推進」をサブテーマとして設定して研究に取り組んでまいります。

今、新時代における社会に開かれた教育課程、「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善、GIGAスクール構想、そして働き方改革など、学校は大きな転換期を迎えています。その「改革」の中心となるのが、私たち副校長・教頭です。この研究大会は、各教頭会・副校長会が、政策提言能力を備えた職能研修団体として力をつける、唯一無二の貴重な場です。全国の副校長・教頭先生が活発に意見を交わし、大いにその力量を磨いてほしいと願っています。全国の会員の皆様の積極的な参加をお待ちしております。



石川大会実行委員長
柳瀬 道雄

ふるさとに誇りをもち 未来を切り拓く心豊かな人づくりを目指す これからの学校運営の推進

石川県は、日本海に面した本州のほぼ中央に位置し、加賀百万石と呼ばれる歴史や風土によって培われた伝統文化・伝統芸能をはじめ、里山里山の風情ある自然景観や心温まるおもてなしの文化、地域に根ざした豊かな食や祭りなど、多彩な魅力あふれる県です。また2015年には、金沢まで北陸新幹線が開通し、首都圏とのアクセスも向上しました。

この石川において、令和5年8月3日から8月4日までの2日間、第65回全国公立学校教頭会研究大会石川大会を開催致します。本大会では、コロナ禍の中にあっても、より多くの会員の方が参加できるよう、参集型とオンライン型を融合した「ハイブリッド形式」で開催する予定です。また「石川大会」は、第13期の1年次にあたり、全国統一研究主題「未来を切り拓く力を育む 魅力ある学校づくり」をもとに、「ふるさとに誇りをもち 未来を切り拓く心豊かな人づくりを目指す これからの学校運営の推進」をサブテーマに設定しました。第12期3年間の研究成果や課題を踏まえ、さらなる研究の推進に取り組んで参りたいと考えております。

近年は、グローバル化の進展やAIをはじめとする先端技術の高度化など、社会が大きく変化しております。そして、依然として続く新型コロナウイルスの感染拡大は、私たちの生命や生活のみならず、社会、経済など、多方面に大きな影響を及ぼしています。

こうした先行きの見通せない時代にあるからこそ、学び続ける意欲を持ち、多様化する課題に主体的に取り組み、他者と共に支え合い、高め合いながら、未来を切り拓いていく力が求められています。

本県では、ふるさとに誇りをもち、広い視野に立って社会に貢献する人材の育成を目指しております。自然や歴史・伝統・文化に学び、ふるさとに誇りを持つことは、豊かな人間性を育み、広い視野に立って社会に貢献する人づくりにつながっていくものと考えます。

夏の「石川大会」では、各地の貴重な研究成果を共有するとともに、研究主題やサブテーマに迫る活発な意見交換を通して、副校長・教頭がどのようにリーダーシップを発揮し、具体的な方策や取組を進めていくことができるか、実践研究の結果から明らかにしていきたいと思っております。

最後になりましたが、第65回石川大会が皆様にとって、実り多きものとなりますよう、関係者一同、大会開催に向け精一杯準備に努めて参ります。「加賀百万石の城下町」にて、皆様のお越しを心よりお待ちしております。



開催要項

主催

全国公立学校教頭会／東海・北陸地区公立学校教頭会／石川県公立小中学校教頭会

後援

文部科学省 全国都道府県教育長協議会 石川県教育委員会 金沢市教育委員会
石川県市町教育委員会連合会 石川県小中学校長会
全国連合小学校長会 全日本中学校長会 全国へき地教育研究連盟
公益社団法人日本PTA全国協議会 石川県PTA連合会
公益財団法人日本教育公務員弘済会石川支部 公益社団法人日本教育会

研究主題

「未来を切り拓く力を育む 魅力ある学校づくり」 (全国統一研究主題 第13期1年次)
～『ふるさとに誇りをもち 未来を切り拓く心豊かな人づくりを目指す これからの学校運営の推進』～

開催場所

石川県金沢市

開催期日

令和5年8月3日(木)・4日(金)

開催方法

参集型・オンライン型を併用したハイブリッド大会

〈開会行事・シンポジウム・記念講演〉

ホテル金沢「ダイヤモンド」で開催 他会場+オンライン参加者はライブ視聴

記念講演は期間限定録画配信も行う

*新型コロナウイルスの感染状況により、開催方法が変更になる可能性があります。

日程等

	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00
【第1日目】 8月3日(木)				受付	開会行事	シンポジウム		記念講演	
【第2日目】 8月4日(金)	受付	分科会		昼食	分科会		閉会行事		

*2日目は分科会ごとに時間が異なります。詳しくは後日ご案内いたします。

シンポジウム

テーマ

**ふるさとに誇りをもち 未来を切り拓く心豊かな人づくりを目指す
これからの学校運営の推進**

コーディネーター

田村 学 氏 (國學院大學 人間開発学部初等教育学科 教授)

シンポジスト

長谷川明子 氏 (加賀屋グループ 女将)

シンポジスト

住田 昌治 氏 (学校法人湘南学園 学園長)

シンポジスト

島谷 千春 氏 (加賀市教育委員会 教育長)

記念講演

講師

長谷川祐子 氏 (金沢21世紀美術館 館長)

演題

「豊かな感性を育む場所をつくる」



研究内容

テーマ

「ふるさとに誇りをもち 未来を切り拓く心」

研究の基本目標

21世紀も20年余りを経過し、社会情勢は急速な時代変化の中で知識基盤社会の到来をはじめ、グローバル化の進展や人工知能(AI)の進化など社会の様々な領域で加速度的に日々進展し、将来を予測することは難しくなっています。将来の予測が困難な社会状況の中で、時代の進展を的確にとらえ今後の教育の在り方を見極め、日本国憲法・教育基本法・学習指導要領の理念に基づき、子供たち一人一人に、志高く未来を創り出していくために必要な資質・能力を確実に育む学校教育を実現していくことが、私たちの大きな使命だと考えています。

このような背景を踏まえ、「社会や地域に開かれた学校づくり」を展開し、未来を拓く「生きる力」を高め、豊かな人間性や創造性、国際社会の一員としての自覚をもち、持続可能な社会の担い手となる人材を育成するために私たちは貢献しなければなりません。その使命を果たすために私たちは、副校長・教頭の職務内容の研究を通して力量を高め、国民の期待に応える魅力ある学校づくりに努めることが必要です。

以上のことから、次のことを研究の基本目標とします。

●教育理念に基づく学校教育の実現

特色ある学校づくりを展開し、生きる力を育む学校教育の実現を目指す。

●副校長・教頭としての力量の向上

広い視野に立って学校運営が行えるよう、学校教育に対する識見を深める。

●学校の社会的役割の推進

国民の期待に応える魅力ある学校づくりを推進する。

分科会	課題	各課題の内容		
第1A	教育課程に関する課題	○教育課程の編成・実施・評価 ○学校経営・学校運営 ○教育理念 ○教育目標の設定 ○信頼される学校づくり ○生きる力 ○幼・保・小・中・高・特別支援学校の連携 ○コミュニティ・スクール ○土曜授業 ○地域との連携	全国	兵庫(小)
			東海・北陸	三重(中)
第1B			全国	鳥取(小)
			石川	河北都市(中)
第2	子供の発達に関する課題	○豊かな人間性の育成 ○健康・体力の増進 ○確かな学力 ○課題を発見し解決する力 ○子供の発達を支える教育課題	全国	香川(中)
			東海・北陸	富山(小)
			石川	輪島市(中)
第3	教育環境整備に関する課題	○安全・安心 ○教育施設 家庭・地域との連携 ○学校規模適正化 ○文書事務・経理事務 ○教育の情報化	全国	長崎(小)
			東海・北陸	愛知(中)
			石川	珠洲市(小)
第4	組織・運営に関する課題	○学校運営全般 ○人材育成 ○組織力の向上 ○危機管理や情報管理 ○地域連携 ○異校種連携	全国	北海道(中)
			東海・北陸	岐阜(中)
			石川	鳳珠郡(小)
第5A	教職員の専門性に関する課題	○教育の専門家としての意識高揚 ○指導力の育成 ○研修 ○サービス・コンプライアンス意識 ○小中一貫教育 ○協働体制の構築 ○学校運営参画意識の向上	全国	埼玉(中)
			東海・北陸	福井(小)
第5B			全国	宮城(小)
			石川	加賀市(中)
第6	副校長・教頭の職務内容や職務機能に迫る課題	○チーム学校における職務内容 ○効率的な学校運営 ○教職員の働き方改革 ○教職員の支援 ○副校長・教頭候補者の育成	全公教 総務・調査部	
特別I	時宜に応じた課題	○「個別最適な学び」「協働的な学び」と「GIGAスクール構想の本質的な実現」に関する講演 ○ワークショップ、グループ協議等 ○具体的事例や課題等の共有	全公教 研究部	
特別II	開催地の創意を生かした課題	開催地の創意を生かした課題 ○心の豊かさや感性を育む情操教育 ○組織マネジメントと人材育成を図る教頭の役割	石川県実行委員会研究部	



豊かな人づくりを目指す これからの学校運営の推進

研究の基本方針

1 学校教育の課題の解決に努める

私たちの研究は、国民の期待に応え、教育基本法及び学校教育法等の諸法規に定められた教育の目標を達成することを究極の目的とする。そのために自ら職能を高め、学校現場が抱えている課題の解決に努める。

2 副校長・教頭の職務内容や職務機能を追求する

学校経営において副校長・教頭としての関わりを大切に、その職務内容を実践的に追求するとともに職務機能の充実を図る。

3 研究成果を政策提言活動(要請活動)に生かす

研究活動と政策提言活動(要請活動)は全国公立学校教頭会の活動の2本柱である。研究の成果を政策提言活動に生かし、教育環境の整備に役立てていくよう努める。

提言テーマ	会場
地域の特色を生かした教育活動の推進と教頭の役割 — 体験活動を通じたキャリア教育の充実について —	金沢商工会議所 ホール
地域とともにある学校づくりを目指して — 中学校区コミュニティ・スクールの推進 —	文化ホール 大集会室
幼保小の連携による円滑な接続のための教育課程編成 — 幼保小接続推進リーダー育成事業の取組を通して —	
信頼される学校づくりに資する教育課程の編成・実施・評価 — コミュニティ・スクールの推進と社会に開かれた教育課程の実現に向けて —	K K R 鳳凰
不登校生徒に対する支援と不登校防止対策のための体制づくり — 教員と専門スタッフ及び関係機関等との連携を通して —	
小中一貫教育を推進する教頭の役割 — たくましく生きようとする力の育成 —	東急ホテル ボールルーム
豊かな心を育む教育活動における教頭の関わり — 幼小中連携、家庭・地域が連携した取組を通して —	
愛着と誇りを醸成するふるさと教育への関わり — 学校・地域・校内の連携力を高める取組を通して —	ホテル金沢 エメラルド
生徒の主体性を育む教育環境整備と教頭の役割 — 「ひと」・「もの」・「こと」の編成を中心に —	
子供をとりまく教育環境の整備に向けた教頭のかかわり — 子供の学びの生成に向けて —	ホテル金沢 ダイヤモンドA
夢と志をもち 未来を切り拓く力を育む活力ある学校づくりの推進(案) ～異校種間連携を円滑に行うための効果的な教頭の関わり～	
誰もが自己肯定感をもち、生き生きと生活できる学校をめざして ～組織の活性化を図る教頭の役割～	ホテル金沢 ダイヤモンドBC
同僚性を育み、変化に柔軟に対応できる組織運営の実現と教頭の関わり ～意図的、計画的な人材育成を通して～	
教職員個々の資質の向上、組織の専門性の向上に向けて — 「ALL KUKI 教育改革プロジェクト」の推進による教育の充実に向けて —	ANA 鳳A
教職員の学校運営参画意識を高める — 教頭が導く、積極的に学校運営に関わる教職員の育成 —	
教職員の専門性に関する課題の探求と解決に向けた教頭の役割 — 若年層教員の効果的な育成に向けて —	ANA 鳳B
教職員の指導力を向上させる教頭の関わり — 人材育成を進めるために —	
○「全公教の調査」結果分析と考察 ○「働きがいを感じられる職場作り」～副校長・教頭の役割～ 講師：愛媛大学大学院 教授 露口 健司 氏	ANA 鳳A
「ICT活用を踏まえた、新しい時代の学び(個別最適な学びと協働的な学び)の推進に向けた管理職の役割」 ～生徒も教職員も「誰一人、取り残さない」GIGAスクール構想の本質的な実現に向けて～ 講師：上智大学 総合人間科学部 教授 奈須 正裕 氏 講師：石川県加賀市 教育長 島谷 千春 氏	
①「教育における音楽の力」 講師：作曲家・ピアニスト・即興演奏家 北方 喜旺丈 氏 ②「人を伸ばすメンタルコーチング」 講師：人材教育家・メンタルコーチ 飯山 暁朗 氏	ハイアット イベントスペース



シンポジウム・記念講演 講師

シンポジウム【8月3日(木) 13:30～】

テーマ **「ふるさとに誇りをもち 未来を切り拓く心豊かな人づくりを目指す
これからの学校運営の推進」**



コーディネーター
國學院大學 人間開発学
部初等教育学科 教授
文部科学省視学委員

田村 学 氏

新潟県公立学校教諭、上越教育大学附属小学校教員、柏崎市教育委員会指導主事、国立教育政策研究所教育課程研究センター教育課程調査官、文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官、文部科学省初等中等教育局視学官、平成29年より現職。日本生活科・総合的学習教育学会副会長、中央教育審議会架け橋特別部会臨時委員、産業構造審議会臨時委員など。主な著書「思考ツールの授業」(小学館)、「深い学び」(東洋館出版)、「深い学びを実現するカリキュラム・マネジメント」(文溪堂)、「学習評価」(東洋館)、「生活・総合資質・能力の育成と学習評価」(東洋館)、「探究モードへの挑戦」(人言洞) など。



シンポジスト
加賀屋グループ
女将

長谷川明子 氏

石川県七尾市和倉温泉 出身
「加賀屋」三代目社長 小田禎彦氏 長女
大学卒業後 アメリカ留学
宝石鑑定士資格取得
Ballechi&Kantor 社就職
Los Angeles ダイヤモンド卸
帰国後「加賀屋」女将補佐 中女将「あえの風女将」を経て 加賀屋グループ女将に就任 現在に至る
趣味：日舞 茶道(表千家) 長唄



シンポジスト
学校法人湘南学園
学園長

住田 昌治 氏

2021年度まで横浜市立小学校校長。2022年度より学校法人湘南学園学園長。日本持続発展教育(ESD)推進フォーラム理事、ユネスコスクールレビューアドバイザー、かながわユネスコスクールネットワーク会長、埼玉県所沢市ESD調査研究協議会指導者、横浜市ESD推進協議会委員、日本国際理解教育学会会員、持続可能な地域創造ネットワーク会員、オンラインサロン「エンパワメント」「みらい塾」講師他。著書に、新刊『できるミドルリーダーを育てる』(2022学陽書房)『若手が育つ指示ゼロ学校づくり』(2022 明治図書)『カラフルな学校づくり』(2019 学文社)「任せるマネジメント」(2020 学陽書房) など。



シンポジスト
加賀市教育委員会
教育長

島谷 千春 氏

2005. 4 文部科学省入省
(初等中等教育局、研究振興局、大臣官房総務課、国際課など)
2017. 4 横浜市教育委員会 出向
2019. 4 文部科学省 初等中等教育局 財務課
2021. 4 内閣府 科学技術・イノベーション推進事務局 参事官補佐
内閣官房 グローバル・スタートアップ・キャンパス構想推進室
2022.10 現職

記念講演【8月3日(木) 15:30～】



金沢 21 世紀美術館
館長

長谷川祐子 氏

「豊かな感性を育む場所をつくる」

金沢 21 世紀美術館 館長、東京藝術大学大学院国際芸術創造研究科 教授
キュレーター、美術批評。京都大学法学部卒業。東京藝術大学大学院美術研究科修士課程修了。水戸芸術館学芸員、ホイットニー美術館客員キュレーター、世田谷美術館学芸員、金沢 21 世紀美術館学芸課長及び芸術監督、東京都現代美術館チーフキュレーター及び参事を経て、2021 年 4 月から金沢 21 世紀美術館館長。文化庁長官表彰(2020)。主な企画展・国際展に、第 7 回イスタンブール・ビエンナーレ「エゴフォーガル」(2001 年)、第 4 回上海ビエンナーレ(2002 年)、第 29 回サン・パウロ・ビエンナーレ(2010 年)、第 11 回シャルジャ・ビエンナーレ「re-emerge,toward a new cultural cartography (リ・イマージ:新たな文化地図をもとめて)」(2013 年)、第 7 回モスクワ・ビエンナーレ「Clouds ⇄ Forest」(2017 年)、第 2 回タイランド・ビエンナーレ(2021 年) など。主な著書に、『キュレーション 知と感性を揺さぶる力』、『なぜ?』から始める現代アート』、『破壊しに、と彼女たちは言う:柔らかに境界を横断する女性アーティストたち』、『ジャパノラマ -1970 年以降の日本の現代アート』、『新しいエコロジーとアート「まごつき期」としての人新世』など。

会場案内

コロナウイルス感染症対策として全体会場を設けずに、大会2日間通して10会場に分散して開催します。

4 5A 5B

ホテル金沢

〒920-0849
石川県金沢市堀川新町1番1号
TEL 076-223-1111



1A 金沢商工会議所会館

〒920-8639 金沢市尾山町9-13
TEL 076-263-1153



1B 金沢市文化ホール

〒920-0864 石川県金沢市高岡町15番1号
TEL 076-223-1221



2 KKRホテル金沢

〒920-0912 石川県金沢市大手町2-32
TEL 076-264-3261



3 金沢東急ホテル

〒920-0961
石川県金沢市香林坊2-1-1
TEL 076-231-2411



6 特I ANAクラウンプラザホテル金沢

〒920-8518 石川県金沢市昭和町16番3号
TEL 076-224-6111

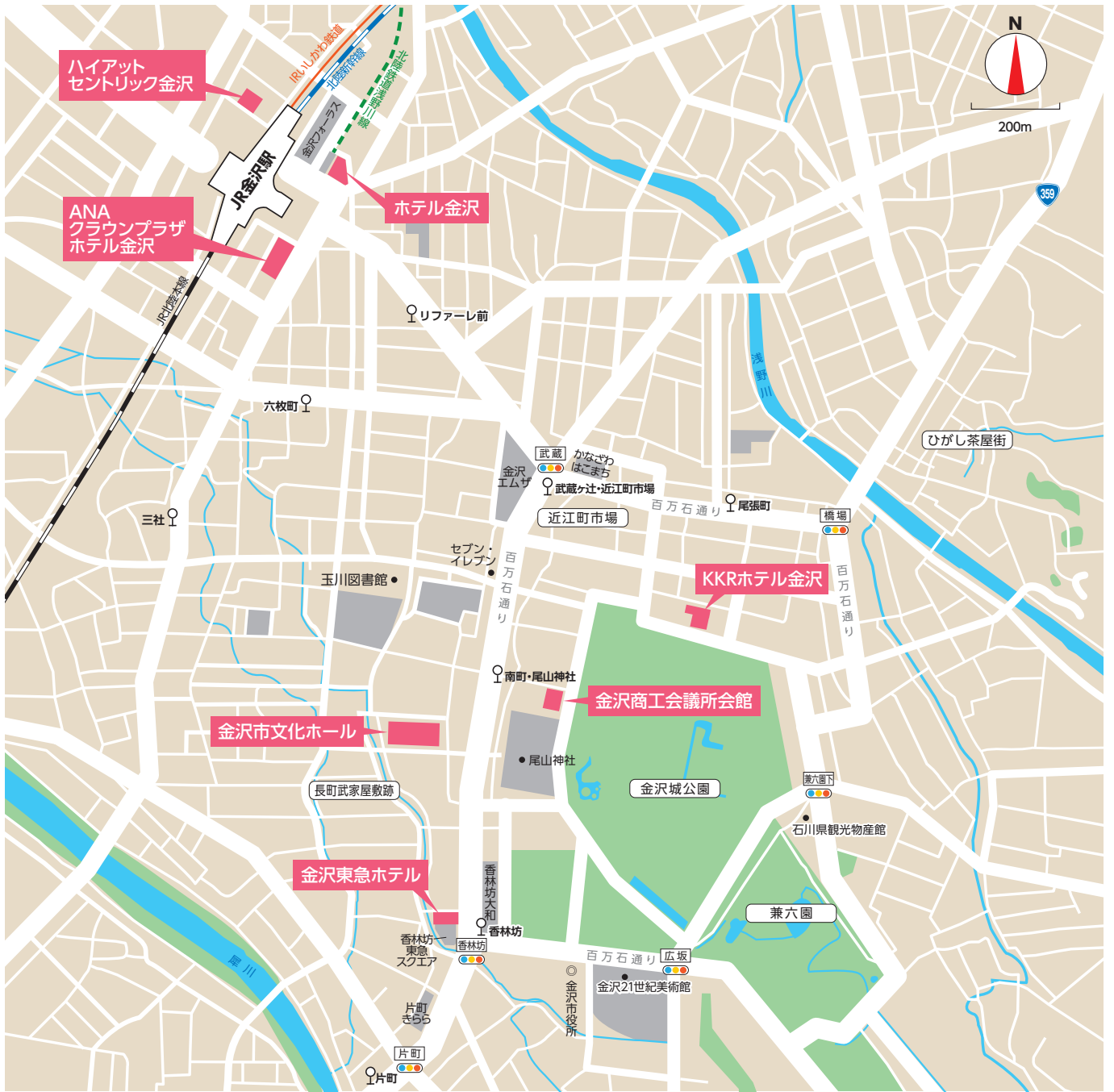


特II ハイアットセントリック金沢

〒920-0031 石川県金沢市広岡1-5-2
TEL 076-256-1234



会場周辺の案内



■大会問い合わせ先

全国公立学校教頭会研究大会 石川大会実行委員会

実行委員長 柳瀬 道雄

〒920-0918 金沢市尾山町10番5号 石川県文教会館内

TEL 076-224-1240 / FAX 076-262-9788 / E-mail ishiktk@po.incl.ne.jp

◎第2次案内掲載先 <https://ishikawa-kyoutoukai.org/>

■参加申込

(1) 申込方法 下記大会申込専用サイトから参加者によるお申込み

[<http://www.mwt-mice.com/events/kyotokai65-ishikawa/>]

(2) 申込期間 4月1日(土)～5月19日(金)

※各都道府県教頭会事務局には、別途案内する方法により申込状況の確認をお願いします。

■大会申込・宿泊の問い合わせ先

名鉄観光サービス株式会社 北陸支店 担当：武田、^{おのだ} 細川、平山

〒920-0919 金沢市南町5-20 中屋三井ビル2階 営業時間 月～金曜日 9:30～17:30 / 定休日 土日・祝日

TEL 076-231-2126 / FAX 076-223-1289 / E-mail kyotokai65-ishikawa@mwt.co.jp

【写真提供】石川県観光連盟



石川県公立
小中学校教頭会

